

日本の電子楽器の技術と音楽教育の原点となった電子オルガン

登録番号	第 00282 号		
登録年月日	令和元年9月10日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	電子オルガン D-1 (エレクトーン)
所在地	静岡県浜松市
	ヤマハ株式会社
所有者 (管理者)	ヤマハ株式会社
製作者(社)	日本楽器製造株式会社 (現：ヤマハ株式会社)
製作年	1959年
初出年	1959年
選定理由	日本の電子楽器発展の契機となった電子オルガンである。メインアンプ以外はすべてトランジスタ (281石) を採用し、安定した音源回路と低消費電力化を実現した。音源回路で作られた音の信号は、ビブラート回路やサステイン回路によりそれまで出せなかった音の表現が得られ、さらに音色回路で基音や倍音を変えて多彩な楽音を作り出すことができた。また打楽器音もリアルタイムに演奏できるなど、一台で様々なアンサンブル演奏を可能にした。音楽教室やコンクールを通して普及促進に成功し、現在も全国に6,000以上とされる教室で後継機種が使用されており、累計で約500万台が販売されている。本機は日本の電子楽器の技術と音楽教育の原点となった機種として重要である。
登録基準	二一八 (社会、文化と科学技術の関わりにおいて重要な事象を示すもの)

公開・非公開	公開
--------	----



その他参考となるべき事項	
--------------	--